

2025 年度愛知県新体育館整備・運営等事業の取組状況について

本資料は、株式会社愛知国際アリーナが作成した事業報告書の記載をもとに、愛知県としての分析・評価等を追加したものです。

1 事業概要

(1) 目的

愛知県体育館は、夏の風物詩にもなっている大相撲名古屋場所の開催などを通じて、半世紀以上にわたり県民に親しまれてきたが、老朽化とともに規模・機能がスポーツの国際大会を開催するための国際基準を満たさなくなった。このため、2026 年のアジア競技大会・アジアパラ競技大会を始めとした国際大会に利用できるよう、愛知県新体育館の整備を進め、2025 年 7 月 13 日に大相撲名古屋場所をこけら落としとしてグランドオープンした。

(2) 施設概要

施設名	愛知国際アリーナ（愛称：IG アリーナ）		
所在地	名城公園北園の一部（名古屋市北区名城一丁目地内）		
設置根拠	愛知県スポーツ施設及び社会教育施設条例		
設置目的	スポーツの振興及び県民の文化的教養の向上を図る		
供用開始	2025 年 7 月 1 日		
諸元	敷地面積：約 46,000 m ²	建築面積：約 26,500 m ²	
	延床面積：約 63,000 m ²	階層：地上 5 階建	
	最高高さ：41.0 m	最大収容人数：17,000 人（立ち見含む）	
施設構成	メインアリーナ：約 4,600 m ²	サブアリーナ：約 2,600 m ²	

(3) 事業手法

ア 事業方式

本事業は、PFI 手法の BT コンセッション方式を国内のアリーナで初めて採用している。設計・建設から維持管理・運営までを一体の事業とすることにより、維持管理・運営を見据えた施設整備が可能となり、最大収容人数 17,000 人、天井高約 30m、国内最大級の 8 面体センターハングビジョン、最先端の ICT 技術などを備え、スポーツの国際大会・全国大会や国内外のライブなど大規模イベントに対応可能な世界トップレベルのグローバルアリーナを実現している。

なお、こうした点が高く評価され、2026 年度に「第 2 回 PPP/PFI 事業優良事例表彰」の大臣賞（最優秀賞）を受賞した。

イ 事業期間

設計・建設期間：2021 年 6 月から 2025 年 3 月まで（3 年 10 ヶ月間）

（一部外構工事は 2025 年 6 月 30 日まで）

維持管理・運営期間：2025 年 4 月から 2055 年 3 月まで（30 年間）

ウ 事業者名

株式会社愛知国際アリーナ

(代表企業) 設計・建設期間：前田建設工業株式会社

維持管理・運営期間：株式会社 NTT ドコモ



IG アリーナ外観（正面）

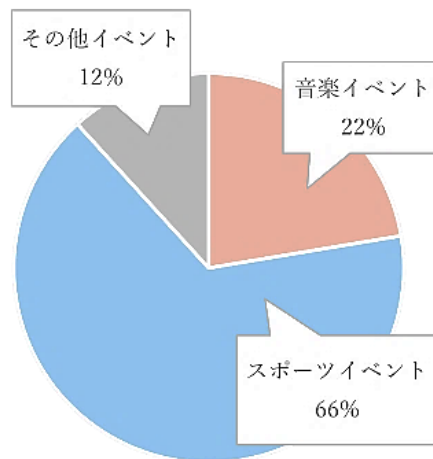
2 利用実績

(1) 催事件数

2025 年度に開催された催事は 85 件であった（プレオープンイベント及びオープニングイベントを含む）。

【図表：イベント種別ごとの内訳】

イベント種別	件数
音楽イベント	19 件
スポーツイベント	56 件
その他イベント	10 件



(2) イベント種別ごとの利用状況

ア 音楽イベント

国内外アーティストによるライブ・コンサートを中心に、19 件開催された。



プレオープンイベント（Hans Zimmer Live in Nagoya）

イ スポーツイベント

大相撲名古屋場所や名古屋ダイヤモンドドルフィンズホームゲームなど、56 件開催された。



名古屋ダイヤモンドドルフィンズホームゲーム

ウ その他イベント

企業イベント、式典、地域イベント等が 10 件開催された。件数は限定的であったが、施設の多目的利用の可能性を示す実績となった。



IG アリーナオープニング DAYs

(3) 来場者数

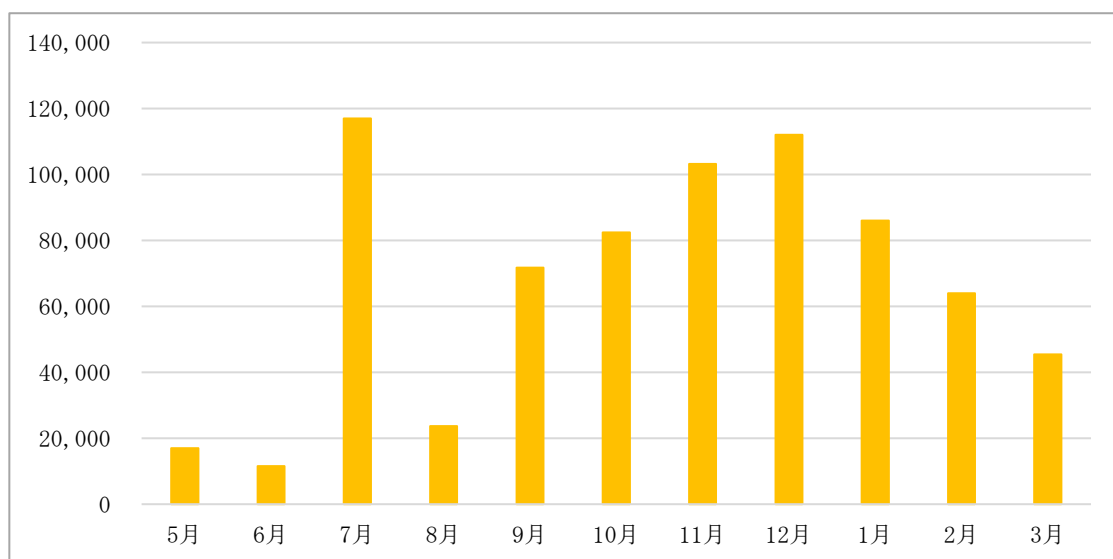
2025 年度の来場者数は約 73.4 万人であった（プレオープンイベント及びオープニングイベントイベントを含む）。特に 7 月は、大相撲名古屋場所などの大型イベントの開催により、来場者数が 11.7 万人と年間で最多となった。

【表：月別の来場者数及び主なイベント】

月	来場者数	主なイベント
5月	1.7万人	プレオープンイベント (Hans Zimmer Live in Nagoya) IG アリーナオープニング DAYs
6月	1.1万人	IG アリーナオープニング DAYs
7月	11.7万人	大相撲名古屋場所
8月	2.3万人	BLACK SAMURAI 2025 THE CAMP
9月	7.1万人	NTT ドコモ Presents Lemino BOXING トリプル世界タイトルマッチ 井上尚弥 vs ムロジョン・アフマダリエフ
10月	8.2万人	りそなグループ B.LEAGUE 2025-26 シーズン第1節 名古屋ダイヤモンドドル フィンズ vs レバンガ北海道 2025 aespa LIVE TOUR - SYNK : aeXIS LINE - in JAPAN
11月	10万人	=LOVE 8周年ツアー「=LOVE 8th ANNIVERSARY PREMIUM TOUR」
12月	11万人	ISU フィギュアスケートグランプリファイナル 愛知・名古屋 2025
1月	8.6万人	2025-26 大同生命 SV.LEAGUE ウルフドッグス名古屋 vs サントリーサンバー ズ大阪
2月	6.4万人	Samsung Galaxy presents TGC in あいち・なごや 2026 by TOKYO GIRLS COLLECTION
3月	4.5万人	BreakingDown 19

※小数点以下四捨五入

【図：月別の来場者数】



(4) その他

- ・一般利用は174件で、地域住民や近隣の大学によるスポーツ利用等で利用された。
- ・利用者を対象としたアンケート調査を実施したところ、8割以上の利用者から好意的な評価が得られ、施設の新規性や観覧環境、設備の利便性、清掃状態に対する評価が高かった。

3 2025 年度の業務別の主な取組内容

(1) 維持管理業務

ア 業務概要

IG アリーナの機能及び性能等を常に発揮できる最適な状態を保ち、利用者の安全、安心かつ快適な施設利用に資するよう、維持管理を行う。

イ 主な取組内容

- ・要求水準書及び法令に基づき、建築物保守管理業務、設備保守管理業務、什器備品保守管理業務、修繕等業務、衛生管理・清掃業務、保安警備業務、植栽維持管理業務、外構施設保守管理業務を年度業務計画書や各種催事の開催予定に沿って実施した。

【愛知県による分析・評価】

要求水準書、法令及び年度業務計画書に基づき保守管理や清掃、警備等の各業務が着実に進められるとともに、施設の不具合に対して再発防止策を含めた適切な措置が講じられるなど、グラントオープン以降、大きな事故なく適切に維持管理が行われた。

今後も、安心・安全かつ快適な環境を維持するとともに、実際に運営する中で生じる課題や改善点について、関係者と連携して適切に対応していくこと。

(2) 運営実施業務

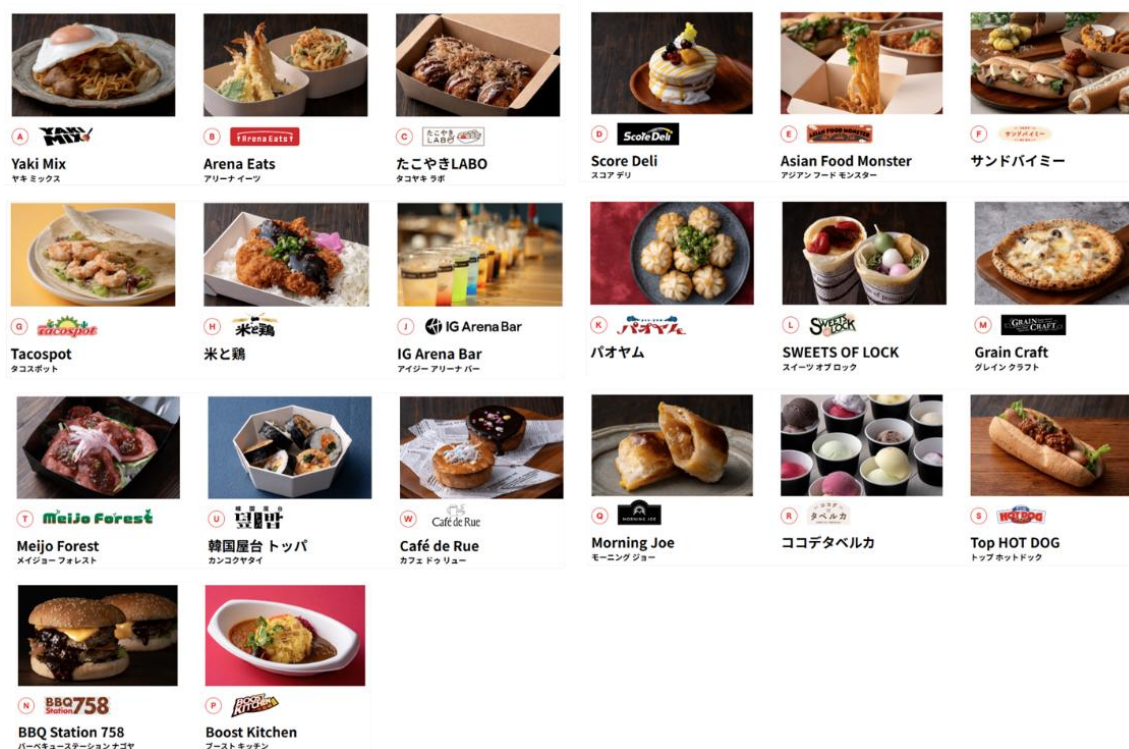
ア 業務概要

大相撲名古屋場所をはじめ、スポーツの国際大会や全国大会、国内外のライブ、全国レベルのコンベンション等の大規模イベントが継続的に実施される拠点施設となるよう、安定的な運営を実施する。

イ 主な取組内容

- ・開業初年度業務として、業務オペレーションの標準化や飲食サービスの運営体制の構築等に取り組むとともに、サービス品質の平準化に向けたマニュアル整備や接客研修、株主との連携によるロールプレイング研修を実施した。
- ・救護体制や防災・緊急対応マニュアルを整備するとともに、防災訓練を2回実施した。
- ・料金收受業務、総合案内業務、駐車場管理業務等を適切に行った。
- ・ウェブサイトの構成等を見直し、利便性・分かりやすさを向上した。
- ・SNSを活用して、施設情報やイベント情報の発信を行った。
- ・公式アプリを開始し、イベント情報を発信するとともに、チケット購入機能及びモバイルオーダー機能を提供した。
- ・一般利用向けの予約システムを開始した。
- ・最先端のICT技術を活用した質の高い観戦・鑑賞環境を提供した。
- ・国内最大級の規模と先進的な設備を有するIGアリーナの特性を活かした興行誘致活動を実施した。
- ・大相撲名古屋場所や名古屋ダイヤモンドドルフィンズのホームゲームの開催を通じて関係団体との協力体制を構築した。
- ・飲食店舗（20店舗）において、食の世界旅行をテーマとした飲食サービスを提供するとともに

に、興行イベントとのコラボ商品など高いクオリティと独自性を有するメニューを考案し、多様な飲食サービスを提供した。



飲食店舗一覧

- ・開業式典及びオープニングイベントを県と共催するとともに、アジア・アジアパラ競技大会の開催準備に協力した。
- ・名城公園関係者の連絡会議に出席するなど、行政等との情報交換を行った。
- ・IG アリーナエリア連絡協議会を開催し、近隣商店街や大学、行政等との連携を図った。
- ・名古屋ダイヤモンドドルフィンズ、地元商店街等と連携して、IG アリーナカップ（中学生のバスケットボール大会）を実施した。



IG アリーナカップ

- ・中部電力株式会社等と IGNAS（IG アリーナと周辺地域の課題解決や活性化に向けてスタートアップ企業と共創するプログラム）を開始した。



IGNAS

- ・スポンサー営業を実施するとともに、スポンサー企業のアクティベーションに協力し、商品の展示・体験やサンプル商品の配布等を実施した。

NAMING RIGHTS PARTNER

IG証券

IG証券株式会社

FOUNDING PARTNER



株式会社NTTドコモ



日本特殊陶業株式会社



サントリー株式会社



中部電力株式会社



株式会社三菱UFJ銀行



NTPホールディングス株式会社



ヤマザキマザック株式会社

OFFICIAL PARTNER



インフロンティア・ホールディングス株式会社



豊島株式会社



NTTドコモビジネス株式会社



株式会社タマディック



東急不動産株式会社

OFFICIAL SUPPLIER



株式会社乃村工藝社



株式会社名古屋シミズ



サントリービバレッジ&フード株式会社



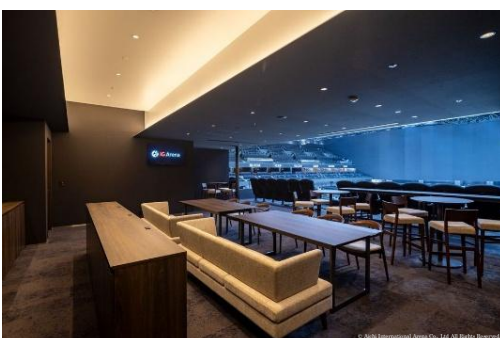
株式会社マルト水谷

スポンサー企業一覧（2026 年 3 月 31 日時点 17 社）

- ・ d CARD LOUNGE 及び MUFG Suite において、高品質な飲食を楽しみながら観戦・鑑賞ができるサービスの提供を行った。



dCARD LOUNGE



MUFG Suite

【愛知県による分析・評価】

県と連携して内覧会、開業式典及びオープニングイベントを実施するなど、開業に向けた取組が着実に行われ、7月13日に大相撲名古屋場所をこけら落としとして無事グランドオープンを迎えることができた。

グランドオープン後も、スポーツイベントや音楽イベントなどが続々と開催される中、主催者と協力して大きな事故なく運営が行われ、最先端の ICT 技術を活用した観戦・鑑賞体験や多様な飲食サービスの提供が行われた。また、運営体制の整備、業務オペレーションの確立など開業初年度の固有業務が着実に行われるとともに、公式アプリ及び予約システムが開始された。国内最大級の規模と先進的な設備を有する IG アリーナの特性を活かした興行誘致も行われた。

その他、エリア連絡協議会の開催や IGNAS の取組など、地域連携の取組も行われた。

今後も、IG アリーナの強みを最大限に生かして国際スポーツ大会や国内外のアーティストの誘致に取り組むとともに、スマートアリーナの実現に向けて、ICT 活用による新たな観戦・鑑賞体験の創出を積極的に進めていくこと。また、地域社会の課題解決や活性化に向けたプロジェクトを継続的に企画・開催し、地域連携の取組を進めていくこと。

（３）統括マネジメント業務

ア 業務概要

本事業全体を安定的かつ円滑に進捗させるため、業務全体の一元的管理を担い、実施体制の構築や各業務間の調整、組織全体の予算管理や監査・決算などの総務・経理業務、ガバナンス業務を実施する。

イ 主な取組内容

- ・統括管理責任者の変更に伴い、統括管理責任者届を県に提出した。
- ・各業務計画の適切な実施に向け、組織改定及び体制構築を行うとともに、実施体制図を変更し、県に提出した。
- ・事業計画について、最小の経費で最大の効果を上げられるよう管理・企画した。
- ・多様な利用や幅広い集客が可能となる世界有数のアリーナにふさわしい年間スケジュール（興行カレンダー）や誘致計画（興行誘致計画書）を更新した。
- ・開業に向け、ドライランを実施し、高いホスピタリティサービスを提供するための体制整備を進めた。
- ・2024 年度業務報告書（財務の諸報告を含む）、2025 年度中間決算報告書及び 2026 年度業務計画書（財務の諸計画を含む）をとりまとめて、県に提出した。
- ・代表取締役社長の変更等に伴う履歴事項全部証明書、印鑑証明書、定款及び株主名簿の写し、金融機関との変更契約や特定事業契約第 15 条に定める委託契約の契約書の写しを県に提出した。
- ・文書規定に基づき、受領及び作成した文書等の整理・保存・管理を行った。
- ・建築物台帳・設備台帳・備品台帳を適宜更新した。
- ・資本金及び資本準備金の合計額を 2,278,500,000 円以上に維持した。
- ・セルフモニタリングを実施し、毎月の連絡会議において県に報告した。

【愛知県による分析・評価】

各業務計画の実施に向けた組織改定・体制構築や、事業計画の管理・企画、年間スケジュール・誘致計画の更新などが着実に行われた。

その他、モニタリングに必要な書類の提出や経理・総務業務も適切に行われた。

今後も、本事業が安定的かつ円滑に実施されるよう、全体を俯瞰する立場から業務間の調整等を適切に行うこと。

4. 本事業におけるガバナンスについて

(1) ガバナンス体制について

県と事業者で合意した特定事業契約上のガバナンス基本計画に基づき、重層的な会議体を設置している（下図のとおり）。

事業者は各業務の実施状況のセルフモニタリングを行い、結果を会議体の場で県に報告する。県は、報告内容の確認や現地確認等により、要求水準書の内容を満たしているかモニタリングし、必要に応じ、是正措置（注意、是正指導、是正勧告）やペナルティポイントの計上、違約金の請求を行うこととしている。

また、外部統制の仕組みとして、複数の有識者により構成する第三者機関を設置し、客観的な立場から県と事業者の協議促進、相互信頼の構築・回復を図るための助言を受けることとしている。

【図：会議体について】

会議体名	参加者	開催頻度
協議会	・ 県スポーツ局長 ・ 代表取締役社長	年一回以上（随時開催）
事業調整会議	・ 県スポーツ局愛知国際アリーナ課長 ・ 取締役	半期に一度程度
連絡会議	・ 県スポーツ局長が指名するもの ・ 代表取締役社長が指名するもの	月一度程度

(2) 実施状況

連絡会議を毎月 1 回開催するとともに、協議会を 1 回、事業調整会議を 1 回開催し、各業務の実施状況や課題について確認した。

第三者機関による協議会に対するヒアリングは 1 回開催された。事業者から 2024 年度の取組状況並びに 2025 年度の業務計画及び進捗状況を報告するとともに、第三者機関の各構成員から事業に関する意見や助言を受けた。また、現地調査も 1 回実施された。

その他、ガバナンス体制の不備等について、2 件の是正勧告が行われた。

【愛知県による分析・評価】

ガバナンスに関する取組については、年間を通じて適切に行われた。

2025 年度中に 2 件の是正勧告が行われたが、是正勧告後の対応は適切に実施されている。このような事案が発生しないよう、引き続き適切なガバナンスに努めること。

5. 愛知県による年間総評

2025 年度は開業年度であり、内覧会、オープニングイベントを経て、2025 年 7 月にグランドオープンを迎えるとともに、大規模イベントが多数開催され、最先端の ICT 技術を活用した観戦・鑑賞体験や多様な飲食サービスが提供された。また、組織体制が更に強化され、興行誘致、広報のほか、業務オペレーションの確立等の開業初年度の固有業務、公式アプリ及び予約システムの開始、施設の適切な維持管理など、施設運営の基盤づくりが着実に実施されたことが確認できた。

全体としては順調に事業が推進されているところではあるが、引き続き世界トップレベルのグローバルアリーナの実現に向けて、各構成企業が有する強みを十分に発揮して、事業を推進すること。

【総合評価】

概ね期待どおりの水準で施設運営がなされている。（「愛知県指定管理者制度ガイドライン」で示された評価基準（4 段階評価）のうち 2 番目に高い評価に相当。）